
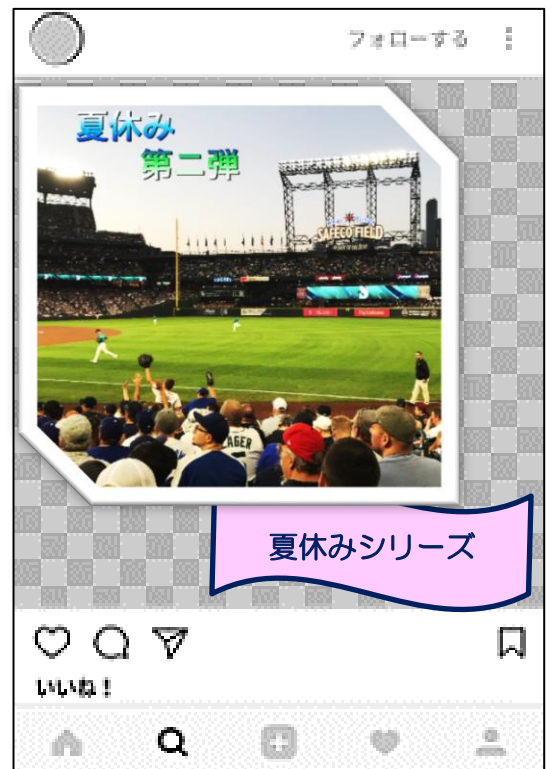




Instagram やってます！  いいね！

JCHO 大阪病院看護部のInstagramを6月から開始して4ヶ月が経過しました。徐々にフォロワー数は増加傾向にあり(?) 日々様々な情報が発信できるように初心者4人で奮闘しています。投稿内容としては主に院内のイベントや研修を中心に投稿していますが、この夏は「夏休みシリーズ」として特集を組みました。少しでも病院や働く看護師への興味、関心がわくように取り組んでいきたいと考えています。皆様、応援よろしくお願い致します。

(SCU 看護師長 中島佐和)



## 第21回ケア連携の会報告

今回のケア連携の会では年々増加している終末期在宅医療について、病院側も在宅側も現状を知りたい、知識や知見を深めたいとニーズが高まっていることを受け、在宅側から講師をして頂くことを企画致しました。

9月11日(火)に「終末期がん患者の在宅医療」と題しまして、いつもお世話になっている中村クリニック院長の中村幸生先生に講演して頂きました。地域88名、院内53名、合計141名と多数の参加があり、会場は満席状態でした。講演の内容から在宅での患者さんの様子や往診に行かれた時の状況が目に見え、終始和やかな雰囲気の中で約1時間の講演はあっという間に終わってしまいました。在宅側としては特別ではない日常茶飯事のことかもしれませんが、病院側としては住み慣れた家の力のすごさを感じ、残された時間を有意義に過ごして頂くために、改めて在宅側との連携の大切さを実感しました。終了後のアンケートでは、もっと具象的な内容の講演を希望するとの声を多く頂き、今後の企画に反映させていきたいと思っております。



(一般診療外来 看護師長 圓尾亜由美)

## CN/CNS 報告会

7/20に専門・認定看護師の活動報告会を開催しました。私は当院で勤務して半年のため、がん看護専門看護師として今までの施設での活動内容や当院で実践していきたいと考えていることなどを発表させていただきました。認定看護師4名は事例を混じえて実践報告することで、アンケートでは「活動のイメージがわいた。」「何を大切にしているのかがわかった。」などのご意見をいただきました。今後も我々専門・認定看護師は現場の皆様のケア支援を行うとともに、皆様のスキルアップに繋がる企画を考えていきたいと思っております。

(がん専門看護師 志方優子)



## 世界糖尿病デー 準備中

現在、毎週金曜日を活動日として、院内の糖尿病患者さんの支援を行っています。最近では、特にがん疾患に対する化学療養や手術を受けながら、血糖コントロールにも取り組む患者さんの支援が多く、スタッフの皆さまと協力させていただくとともに、がん関連の認定看護師や専門看護師、多職種の方との連携の重要性を実感しています。

また、毎年11月14日の世界糖尿病デーに際し、当院でも11月12日(月)2階のラウンジにて糖尿病の啓発活動として世界糖尿病デーイベントを開催します。患者さんやそのご家族の方、職員の皆さま、誰でも気軽にお越しください。(糖尿病認定看護師 前田結香)



## がんばる♥ジェネラリスト

前回に引き続き、JCHO 大阪病院の看護を支えてくれている看護師の紹介をします。



私は、これまでに何度か部署移動をし、現在呼吸器内科・外科病棟に勤務しています。部署異動の都度、部署の特殊性である疾患や治療を学ぶ、業務を覚える、新しいスタッフとの人間関係の構築と慣れるまでの大変さはありませんでしたが、同時に新しいことを覚えることの楽しさも知ることができました。これまで習得した知識や技術・人との関わりは、仕事をしていく中で現在、経験として活かされているのではないかと感じています。また、何年仕事をしていても学ぶべきことは多く、これからも様々なことを学び習得し、経験したことは日々の看護や指導につなげていきたいと思っています。

(11階東病棟 副看護師長 濱本加代子)

私は入職時から外科病棟で勤務し、看護師6年目になります。8階南病棟では様々な病期のがん患者と関わる機会が多く、周手術期、化学療法、放射線療法、終末期の看護を実践してきました。患者が疾患を抱え治療を受けながらも最後までその人らしく生きることを尊重できるよう、日々看護に取り組んでいます。患者の望む療養生活に向けて、病棟では活発にカンファレンスが行われており、そこから日々勉強しています。また病棟全体の在宅療養支援実践能力向上に向けた取り組んだ経験により、看護研究をまとめ学びを深めています。今後も患者の望む療養生活に向けた看護が実践できるよう、勉強していきたいと考えています。(8階南病棟 看護師 藤原成美)



### 「平成30年7月豪雨」 災害支援活動報告

大阪府看護協会の依頼で、災害支援看護師として7月27～30日に岡山県倉敷市真備町の岡田小学校に支援に行きました。

現地は建物の外壁だけが残り、ごみがあふれ、臭いや砂埃もひどい状態でした。被災者は、慣れない避難生活と生活の再建に追われ、現地のスタッフも疲弊している状態でした。また、様々な問題(衛生面、支援物資や医療資源の偏り、情報の混在、DVや犯罪)がありました。このような状況では、看護師は現場であるものを利用し、被災者の生活環境を整え、自立できるようにサポートすることが重要であり、その際、災害慢性期の被災者の心理状態を理解し、支援にあたっていくことが大切だと思いました。派遣期間中、被災地に台風12号が来ましたが、小田川・高梁川の決壊の修復もできておらず、かなり危険な状態でしたが、幸いにも2次災害には至りませんでした。しかし、いつどこで私たちも被災するかわからないので、これを機会に災害に関心を持ち、備えていただければ幸いです。(一般診療外来 看護師 高本典子)



## キラキラ働く ママさん・パパさん

JCHO 大阪病院では子育てをしながら仕事も頑張るママさん・パパさん看護師がたくさんいます。今回はそんなママさん・パパさん看護師を紹介します。

### 10階東病棟 看護師 田陽愛



私は5歳1ヶ月の長男、3歳8ヶ月の次男、1歳4ヶ月の長女の子育て中です。今年度4月育休から仕事復帰をしました。働き方は育児支援を受けず、夜勤を曜日固定し、月4回しています。みんなからは「子ども3人の子育てをしながら、フルタイムで夜勤もするなんてすごいね。」と言われますが、そうではありません。夜勤をすることで平日の夜勤明けに、誰もいない環境でぼーっとできたり、次の日のお休みの日に美容院に行けたりと自分の自由な時間ができ、平日時短で5日勤していたときよりも、かなり充実した日々を送れています。もちろん、夜勤をしているので家族のサポートを受けています。夜勤の日は主人に早く帰ってきてもらい、私の両親もかけつけ、寝る準備まで一緒にしてもらっています。本当に感謝しかありません。主人も仕事が好きな人なので、私が看護師という仕事を好きだということも理解してもらえ、お互い助け合っているのだと思います。これからも、看護師としてママとして、女性としてキラキラ輝く人でありたいと思います。

### 集中治療室 副看護師長 水野健司

私がICUで働きだして、13年目になります。その間に、プライベートや仕事で沢山の事を経験しました。「失敗は成功のもと」と言いますが、そんな「失敗？エピソード」をご紹介します。

長男の出産の時、名前を決める役を引き受けたのですが、妻が入院した日の天気から「“晴”翔（はると）」と名付けましたが、実際に生まれたのは3日後の雨の日でした。次男の時は、出生届を提出するのを忘れていて、期間ギリギリの夜に役所に出しました。（無事に受理して頂きましたが）仕事では、今年度から副看護師長という立場となり、毎日、様々な経験（失敗が多い？）をさせて頂いています。

そのような毎日で、私はONとOFFを分ける事を大切にしています。OFFの時は、家族との時間や趣味（テニス・ランニング）を本気で楽しんでいます。これからも、切り替えを大切に、妻と元気の有り余る2人の子供たちと一緒に失敗を糧に成長したいと思っています。



#### 編集後記

今号では、専門分野やジェネラリスト、子育てと仕事を両立しながら活躍されている方など、多方面で活躍する皆さんの姿を知ることで良い刺激を受けたのではないのでしょうか。多方面で活躍されている皆さんを発信することで、看護に対するモチベーションUPにつながるような「たより」を目指してい

きますので楽しみに！！

(手術室看護認定看護師 高橋良知)